

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ゆめの扉		
○保護者評価実施期間	R8年1月15日		～ R8年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2026年1月27日		～ 2026年2月7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月24日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者の年齢層が幅広く様々な年齢の関わりが持てる	様々な年齢層の子どもが興味をもって活動に参加できるようにプログラムを職員間で検討している。また、中学生や高校生などの進路に向けてのサポートも行っている。	子ども一人ひとりの発達特性に応じ、より成功体験を積み重ねられるようにプログラムを充実する。
2	チームで連携して支援を行っている	職員間で打ち合わせを行い、長期的視点と日々の気づきなどを報告し確認している。	職員間の共通意識を高められるよう、情報伝達の内容等の充実を図る
3	高齢者のデイサービスと併設のため、職員や高齢者との交流を持つことができる。	子供達の慣れた職員以外との交流の機会を意図的に作る事ができる。	コロナウイルスの感染拡大前には、交流のイベントを行っていた。感染対策を行い実施する。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	非常時等の対応の実施が保護者に認知されていない	実施した様子などを保護者に伝えきれていない	実施した様子など保護者に伝えていく連絡帳やゆめの扉通信等で伝える
2	ICTの活用	紙ベースで保管しているものが多い。	データでの保管などを進めていく。
3			